



とくしま“あい”ランドNEWS

(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会では、ぬくもりと活力ある長寿社会を目指して、生きがいづくり・健康づくり・社会活動に取り組む指導者育成などのさまざまな事業を実施し、高齢者の方々に応援しています。



理事会風景



第26回理事会で挨拶をする
後藤田正純理事長

第26回理事会 令和6年度事業計画決まる

3つの公益事業で8事業を実施

3月12日、(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会は、後藤田正純理事長、手塚俊明副理事長ら12人の理事と監事2人が出席し、徳島県庁大会議室で第26回理事会を開催しました。

理事の職務の執行状況について報告を行った後、令和5年度補正予算(案)、令和6年度事業計画(案)及び収支予算(案)、評議員会の招集及び提出議案、諸規程の改正(案)を審議。各議案とも原案どおり可決しました。

なお、この日決まった令和6年度事業計画の概要は次のとおりで、3つの公益事業で8事業(▼印)を行います。

(1) 公益目的事業1

情報誌の発行や高齢者の生きがいと健康づくりの推進、世代間・地域間交流などを目的とするイベントの開催などを通じて、広く県民に明るい長寿社会づくりについての啓発を行います。

▼1・長寿社会啓発事業

▼2・徳島県健康福祉祭開催事業

▼3・全国健康福祉祭への選手等派遣事業

(2) 公益目的事業2

高齢者自身が生きがいを持って豊かな高齢期を創造できるような、能力の再開発を支援するとともに、社会活動の振興のための指導者として活躍できる人材を育成します。

▼4・シルバー大学の開講事業

▼5・シルバー大学校大学院の開講事業

▼6・活き活きシニア放送講座開講事業

▼7・関西圏・首都圏シニアカレッジ交流会事業

(3) 公益目的事業3

地域貢献活動の「担い手育成」と「活躍の場の創出」により、元氣な高齢者が活躍する生涯現役社会を実現します。

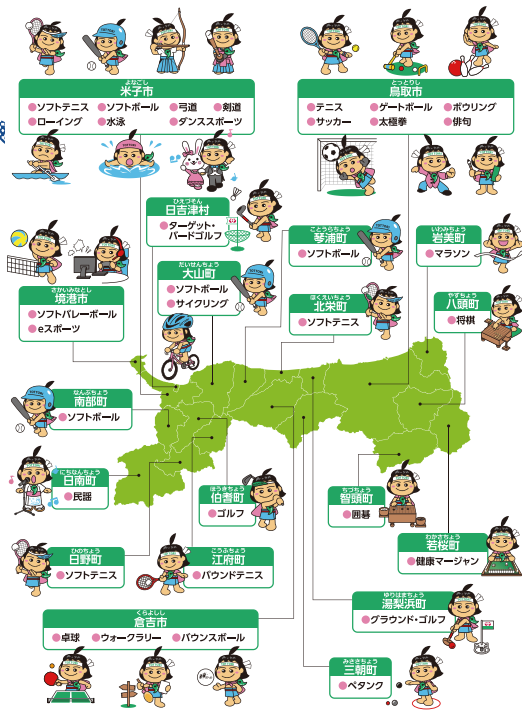
▼8・アクティブシニア地域活動支援事業

第26回評議員会を開催



評議員会風景

(公財)とくしま“あい”ランド推進協議会は、3月22日、県立総合福祉センター(徳島市中昭和町)で第26回評議員会を開き、令和5年度補正予算、令和6年度事業計画及び収支予算について報告後、役員の報酬について審議。原案どおり可決しました。



「ねりんピック」に
選手団派遣

第36回全国健康福祉祭
とっとり大会(ねりんピック
はばたけ鳥取2024)
が「咲かせよう 砂丘に長
寿と 笑みの花」をテーマ
に、令和6年10月19日(土)
〜22日(火)の4日間、鳥
取県内で開催されます。
(公財)とくしま“あい”
ランド推進協議会は同大会
に選手団を派遣することに
しています。期間中の開催
種目と地域は左図のとおり。

徳島県シルバー大学校

◆こころ一つに大学祭を開
催

徳島県シルバー大学校第42
期生の大学祭が2月6日あわ
ぎんホール(徳島市藍場町)
で行われました。

大学祭は同大学の学生
が、学習成果や学生生活を
発表することで共通理解を深
め、今後の学生会活動など
一層の充実を図るため、こ
ろを一つにして開催したも
のです。42期生学生会の大学祭
実行委員会と(公財)とくし
ま“あい”ランド推進協議会
が主体になり式典、芸能発表
会、作品展を実施し、県内9
校の学生ら約400人が参加
しました。

午前の式典では開式に続
き、(公財)とくしま“あい”
ランド推進協議会感謝状贈呈
式が行われました。この感謝
状は、明るい長寿社会を推進
するため、徳島県シルバー大
学校や大学院で学んだ知識・



挨拶をする副校長の手塚俊明
(公財)とくしま“あい”ランド
推進協議会副理事長

技能を活かし「生きがいづく
り推進員」として社会貢献活
動に尽力した人、また、シル
バー大学校や大学院のOB会
役員としてOB会活動の発展
に尽力した人などの功績をた
たえるもので、副校長の手塚
俊明(公財)とくしま“あい”
ランド推進協議会副理事長か
ら18人の方たち(※功労者一
覧参照)に贈られました。



手塚副理事長から感謝状を受け取る
功労者

- ※功労者一覧(敬称略、順不同)
- 【生きがいづくり推進員活動
功労者・11名】
- ★歴史文化Ⅱ佐藤保子
- ★健康スポーツⅡ川上眞澄、
佐藤啓子、後藤田恭子
- ★ICTⅡ頭師弘司、吉永廣子、
小松研一、小笠博利、藤原有士
- ★防災Ⅱ岡実
- ★サポートスタッフⅡ三木達也
- 【シルバー大学校等OB(連
合)会役員功労者・7名】
- ★徳島校OB会Ⅱ小川武男
- ★鳴門校OB連合会Ⅱ吉田景
子、飯原道代
- ★小松島校OB会Ⅱ松田守久
- ★美馬校OB会連合会Ⅱ戎
道子
- ★上板校OB連合会Ⅱ松田
功、岡本昌子

ならいま専科

まんが：A2Cエーツーシー



芸能発表会風景

午後からは各校各グループの学生の皆さんによる芸能発表会が行われ、27グループがそれぞれに趣向を凝らした演出で、ダンスとエアードレス、ハンドベル演奏、英語で観光案内、手話、変装ショー、踊り、リズム体操、中国語で挨拶と合唱などを披露し、楽しいひとときを過ごしました。

また、同館で学生の皆さんの作品展も開催され、絵画、写真、書、俳句・短歌、手芸・工芸、陶芸、絵手紙など405点が展示されました。



作品展会場風景

◆第42期生卒業式 知識を身につけ447人 巣立つ

徳島県シルバー大学校第42期生の卒業式が3月14日、あわぎんホール(徳島市藍場町)で行われました。

開式後、1年間の課程を修了した県内9校(徳島、鳴門、小松島、阿南、吉野川、美馬、牟岐、上板、東みよし校)の447人(女性312人、男性135人)は、手塚俊明副校長から卒業証書を受け取りました。

その後、副校長は式辞で、「人生100年時代です。大学生生活で培った知識と経験、行動力を発揮し、これからの人生がますます充実したものになりますように」と激励しました。



式辞を述べる手塚俊明副校長

卒業生代表の阿南校歴史文
化コース・清水等さん（69歳）
阿南市が「ときめきと感
動に満ちた1年間の大学校で
の学習を基盤にさらに研鑽を



手塚俊明副校長から卒業証書を受け取る卒業生

深め、地域の中で歩み続けた
い」と答辞を述べ、その後出
席者全員で校歌を斉唱して式
を終えました。

第42期卒業生の平均年齢は
72.1歳。最高齢者は男性89
歳、女性88歳。開校以来の卒
業生は1万6千664人にな
りました。



答辞を述べる清水等さん

徳島県シルバー大学校大学院

◆地域貢献活動を目指し 134人が卒業

3月7日、第19期徳島県
シルバー大学校大学院卒業
式が徳島県立総合福祉セン
ター（徳島市中昭和町）で行
われ、1年間の課程を修了し
た9講座134人（男性73人、

女性61人）が巣立ちました。

開式後、手塚俊明副校長
から各講座の代表者に卒業
証書が手渡されました。

次いで手塚副校長が式辞
を述べ、「コロナ禍を経験し
た私たちは人と人との関わ
りあいの大切さを痛感しま



式辞を述べる手塚俊明副校長

した。高い専門知識を身に
つけた皆さんが卒業後も学
び続け、志を同じくする人
たちと生きがいづくり推進
員として、また地域のリー
ダーとして活躍されること
を期待しています」と激励
しました。

卒業生代表の防災講座・
佐々木ひとみさん（66歳）が
徳島市が「それぞれの分
野でのステップアップを目
指して大学院に入学し、仲
間たちと新たな知識を得、
経験を積み、友情を深めた



答辞を述べる佐々木ひとみさん

1年間の大学院生活。卒業
後は学んだ知識を活かし地
域社会の担い手として貢献
していきたい」と答辞を述
べ、その後出席者全員で校
歌を斉唱し、それぞれの新
たな巣立ちを祝いました。



手塚俊明副校長から卒業証書を受け取る卒業生